

2007年1月1日～2021年3月31日の間に 当科において胸腺癌の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「当科における胸腺癌手術症例の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	呼吸器外科	チーフレジデント	野島雄史
研究分担者	川崎医科大学	呼吸器外科学	教授	中田昌男
	川崎医科大学	呼吸器外科学	准教授	清水克彦
	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	黒崎毅史
	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	最相晋輔

1. 研究の概要

胸腺癌は比較的まれな悪性腫瘍で希少がんの一つです。その治療は手術を含む集学的治療を行うことが多いですが、標準治療は確立しておらず手術術式の評価も定まっていません。

日本胸部外科学会の Annual Report では本邦の手術数は310～370件/年で、そのうち胸腔鏡手術は43～52%にとどまっています。一方、胸腺腫瘍診療ガイドラインでは完全切除および胸腺摘出が推奨されていますが、切除範囲やリンパ節郭清など術式に関する検討はほとんどありません。

今回、我々は胸腺癌の手術を行った方の年齢、性別、手術の方法、術後治療の有無、術後再発の有無や術後の生存日数等を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2007年1月1日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において胸腺癌に対して外科的切除を行った方13名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年3月31日

3) 研究方法

2007年1月1日～2021年3月31日の間に当院において胸腺癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに13名のデータを選び、年齢、性別、手術の方法、術後治療の有無や術後再発の有無や術後の生存について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、そ

の他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2021年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：野島雄史

電話：086-462-1111 内線 44433（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1124

E-mail：n.yuji@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。